

【日韓交流事業】第4回 忠州湖カップ メダルポテンシャルアスリート
大門千紗（日田林工高校）・高島美晴（米子東高校）
2 種目制覇を含め若い世代が韓国で躍進！！

平成 27 年 4 月 29 日
国際委員会・強化委員会・タレント発掘委員会

4 月 29 日 第 4 回忠州湖カップ最終日。昨日の天候とは異なり朝から小雨が降り気温は 15 度。早朝より選手・スタッフは会場入りし準備をすすめました。

昨日、ジュニア女子ダブルスカルで優勝した大門千紗選手（日田林工高校）、高島美晴選手（米子東高校）は本日の軽量級女子ダブルスカルに出場。

前半から他艇を引き離し始めポテンシャルを思う存分発揮。しかし、2 度のミスオールもあり悔しさの残るレースとなりました。

また、男子シングルスカルでは久保如竹選手（保谷高校）が 2 位、軽量級男子シングルスカルの瀬戸淳也選手（美方高校）は 3 位（※ 1）でフィニッシュとなりました。

※ 1 日韓交流ではレースの日韓のトップクルーが順位の対象となるため日韓交流としては 2 位として取り扱われています。

藤井団長より

『日韓親善交流レースでは、本当に言葉では言い尽くせないほど沢山の温かい心、おもてなしを受けました。2013 年世界選手権、2014 年アジア大会が開催されたインターナショナルレベルの完璧な施設、コースでのレースは選手達にもスタッフにも最高の刺激になりました。このような機会を創出していただいた韓国ボート協会、日本ボート協会国際委員会など関係者の皆様に感謝したいと思っております。』

そして、日本から応援してくださいました皆さまにも感謝いたします。』

<現地の様子>



(レース後の JPN 選手団)



(軽量級女子ダブルスカル 入賞者)

中央 JPN チーム 左：高島選手 右：大門選手)



(藤井団長を囲み男子シングルスカル入賞選手と記念撮影)

左から 2 番目：久保選手 3 番目：藤井団長)



(軽量級男子シングルスカルの入賞者 中央：瀬戸選手)